

本明川ダム建設事業概要

1. ダムの目的

1) 洪水調節

基準地点裏山において、河川整備の目標流量(諫早大水害相当)1,070m³/sに対して、本明川ダムの洪水調節により290m³/sの流量を低減し、河川整備流量である780m³/sが流下できるようにします。

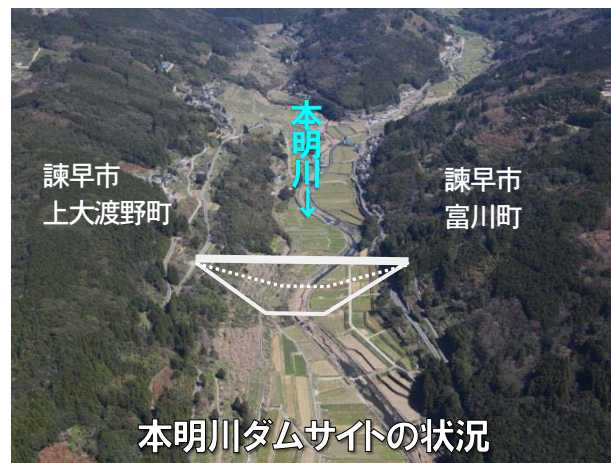
2) 流水の正常な機能の維持

渇水時の良好な河川環境の維持と、ダム下流の既得農業用水が安定的に取水できるよう、本明川の流量を確保します。(※公園堰(直下流)で概ね0.25m³/sを確保)

2. ダムの建設予定地



長崎県諫早市富川町(左岸)、上大渡野町(右岸)



本明川ダムサイトの状況

3. ダム等の諸元

■型 式: 台形 CSG ダム

■集水面積: 約 8.9km²

■堤 高: 55.5m(諫早市役所は約 47m)

■総貯水容量: 約 620 万 m³(トランスコスモスタジアム長崎約10杯分)

■堤頂長: 約 340m

※CSG: Cemented Sand and Gravel の略 (セメントで固めた砂礫のこと)

